



協会報

2019

発行日 毎月1日 通算発行 396号

4



今月のトピックス

平成31年春の県人事異動に伴う着任挨拶

建設工事に係る最低制限価格等の算定方法の改正
について

石川県

建設工事に係る業務委託における最低制限価格の
算定方法の改正について

石川県



石川の工芸シリーズ

石川県立美術館蔵

沈金猫文「けはひ」飾 篋 <前> 大峰【明治23(1890)年-昭和52(1977)年】>

制作年 / 昭和38(1963)年 サイズ / 幅13.9cm × 奥行26.8cm × 高さ6.2cm 技法 / 沈金

輪島市生まれの沈金作家・前大峰は、点影をはじめとした多彩な技法を駆使し、輪島沈金の芸術性を飛躍的に高めたことで知られる。作品は楕円形の漆箱の蓋表に、何かの気配を感じた猫の瞬間を表現したもの。ひげとまつげ以外は点影技法を用い、点の大小や粗密によって立体感を出し、尾や体毛の質感まで表現している。作者の卓越した観察眼と技量が全面に冴えわたる逸品である。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2019

4



石川の工芸シリーズ
沈金猫文「けはひ」飾笥
前 大峰(まえたいほう)

1	今月のトピックス	
	平成31年春の県人事異動に伴う着任挨拶	1
	建設工事に係る最低制限価格等の算定方法の改正について 石川県	2
	建設工事に係る業務委託における最低制限価格の算定方法の改正について 石川県	3
2	最近の完成工事から	
	県央土木総合事務所等新庁舎について	
	石川県土木部監理課	4
3	平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.3	
	小倉建設株式会社	6
4	雇用改善コーナー	
	工業系高校生等の富士教育訓練センター派遣事業感想文	8
5	地区協会コーナー	
	人材確保も地産地消で 地元高校生との繋がりを求めて (一社)珠洲建設業協会	10
6	会員リレーコーナー	
	184 道場建設株式会社	11
7	今月の「輝き！」さん No.49	
	株式会社 山崎建設 山崎美智夫さん	12
8	協会だより	
	委員会の開催	13
	土木委員会	
	海外研修会の開催	13
	建築委員会	
	能登地区安全パトロール開催	14
	土地改良委員会	
	全体会議の開催	14
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	15
	平成30年度「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」結果	15
	建設青年委員会	
	北陸地方整備局企画部との意見交換会の開催	18
	環境・情報対策特別委員会	
	建設廃棄物の適正処理に係る講習会の開催	18
	暴力団等対策特別委員会	
	委員会の開催	18
	建設技術研修所	
	「i-con・BIM/CIMビデオセミナーin小松」の開催	19
9	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCMセミナー(DVD講習会)の開催	19
10	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催	
	平成30年度「私たちの主張」応募作品の紹介	
	「単純な理由から」 株式会社 高田組 中坂衣里	20
11	業界時報	
	平成31年4月 人事異動(関係分抜粋)	21
	労働災害発生状況	25
	平成30年度 建設工事受注高調(元請)	25
12	会員消息	26
13	県協会からのお知らせ	26
14	地区協会からのお知らせ	26

◆ 今月のトピックス ◆

平成31年春の県人事異動に伴う着任挨拶

本年4月1日付けで、石川県土木部長に就任された竹俣隆一氏他5名の土木部幹部が、4月1日午後、県建設業協会を訪問され、新任のご挨拶をいただいた。

県協会では、副会長以下、各委員会の委員長、事務局役員等が出迎えた。

竹俣土木部長は、挨拶で「国では、緊急対策として3兆円の補正予算が計上された。これに呼応して県も前年度比28%増の土木関係予算を計上させていただいた。今後も、建設業協会と力を合わせて石川県のインフラ整備に努めて参りたい。」と述べられた。その後、地域の実情や当面する問題点等を中心に和やかな懇談が行われた。

なお、同日、西川 透県参事（農業・農業土木担当）他3名の農林水産部幹部の新任挨拶もいただいた。西川参事は、「地域の社会資本整備の担い手としての建設業協会にご期待申し上げる。今後も、公共事業予算の継続的・安定的な確保に努めて参りたい。」と挨拶された。



土木部長挨拶

（来訪された土木部幹部）

- ・石川県土木部長 竹俣 隆一 氏
- ・石川県技監（土木担当） 鈴木 穰 氏
- ・石川県参事（プロジェクト・港湾機能強化担当） 城ヶ崎正人 氏
- ・土木部次長 飯田 重則 氏
- ・土木部次長（土木・まちづくり技術センター担当） 二塚 保之 氏
- ・土木部監理課長 寺西 義行 氏



土木部幹部との懇談状況

（来訪された農林水産部幹部）

- ・石川県参事（農業・農業土木担当） 西川 透 氏
- ・農業基盤課長 家元 雅夫 氏
- ・農業基盤課担当課長（里山振興担当） 白池 秀紀 氏
- ・農業基盤課担当課長（事業監理担当） 橋本 尚之 氏



農林水産部幹部との懇談状況 西川参事(右端)

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

建設工事に係る最低制限価格等の算定方法の改正について

石川県

本県では、公共工事の迅速かつ円滑な施工の確保に向けて、契約価格の適正化や実効あるダンピング対策の充実を図るため、最低制限価格及び低入札価格調査基準の算定方法を新しい中央公契連モデルに準じて改正することとしました。

1 改正内容

範囲の上限を「10分の9」から「10分の9.2」とし、下限を「10分の7」から「10分の7.5」とする。

2 最低制限価格等の算定方法（下線部は今回改正した箇所）

(1) 予定価格算出の基礎となった次に掲げるア～エの合計額（スクラップ処分益が計上されている場合は、ア～エの合計額からスクラップ処分益を控除した額）に消費税及び地方消費税相当額を加算した額とする。

ア 直接工事費の額に10分の9.7を乗じて得た額

イ 共通仮設費の額に10分の9を乗じて得た額

ウ 現場管理費の額に10分の9を乗じて得た額

エ 一般管理費等の額に10分の5.5を乗じて得た額

但し、建築・設備工事については、直接工事費のうち、経費計上分（10%相当）は現場管理費とみなす。

(2) (1)により算出した額が、予定価格に10分の9.2を乗じて得た額を超える場合にあっては、予定価格に10分の9.2を乗じて得た額とし、予定価格に10分の7.5を乗じて得た額に満たない場合にあっては、予定価格に10分の7.5を乗じて得た額とする。

3 実施時期

(1) 一般競争入札

平成31年4月1日以降に入札公告を行う工事から実施

(2) 指名競争入札

平成31年4月1日以降に指名競争入札執行通知を行う工事から実施

現行

<p>【範囲】</p> <p>予定価格の</p> <p style="text-align: center;">7.0/10～9.0/10</p> <p>【計算式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接工事費×0.97 ・共通仮設費×0.90 ・現場管理費×0.90 ・一般管理費等×0.55 <p style="text-align: center;">上記の合計額×1.08</p>



H31.4.1～

<p>【範囲】</p> <p>予定価格の</p> <p style="text-align: center;"><u>7.5/10</u>～<u>9.2/10</u></p> <p>【計算式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接工事費×0.97 ・共通仮設費×0.90 ・現場管理費×0.90 ・一般管理費等×0.55 <p style="text-align: center;">上記の合計額×1.08</p>

※計算式により算出した額が上記の「範囲」を上回った（下回った）場合には、上限（下限）値で設定。

建設工事に係る業務委託における最低制限価格の算定方法の改正について

石川県

本県では、建設工事に係る業務委託の最低制限価格の算定方法を、下記のとおり設定することとしました。

1 改正内容

- (1) 測量業務について、最低制限価格の範囲の上限を「10分の8」から「10分の8.2」とする。
- (2) 地質調査業務について、諸経費の算入率を「10分の4.5」から「10分の4.8」とする。

2 最低制限価格の算定方法（下線部は今回改正した箇所）

(1) 建設コンサルタント業務（水道施設及び下水道施設含む）

直接人件費と直接経費とその他原価に10分の9を乗じて得た額及び一般管理費等に10分の4.8を乗じて得た額の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額
(直接人件費 + 直接経費 + その他原価 × 0.9 + 一般管理費等 × 0.48) × 1.08

(2) 建築（設備）設計業務

直接人件費と特別経費と技術料等経費に10分の6を乗じて得た額及び諸経費に10分の6を乗じて得た額の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額
(直接人件費 + 特別経費 + 技術料等経費 × 0.6 + 諸経費 × 0.6) × 1.08

(3) 補償コンサルタント業務

直接人件費と直接経費とその他原価に10分の9を乗じて得た額及び一般管理費等に10分の4.5を乗じて得た額の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額
(直接人件費 + 直接経費 + その他原価 × 0.9 + 一般管理費等 × 0.45) × 1.08

(4) 測量業務

直接測量費と測量調査費及び諸経費に10分の4.8を乗じて得た額の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額
(直接測量費 + 測量調査費 + 諸経費 × 0.48) × 1.08

(5) 地質調査業務

直接調査費と間接調査費に10分の9を乗じて得た額と解析等調査業務費に10分の8を乗じて得た額及び諸経費に10分の4.8を乗じて得た額の合計額に消費税及び地方消費税相当額を加算した額
(直接調査費 + 間接調査費 × 0.9 + 解析等調査業務費 × 0.8 + 諸経費 × 0.48) × 1.08

上記により算出した額が、予定価格に10分の8を乗じて得た額を超える場合にあっては、予定価格に10分の8を乗じて得た額とし、予定価格に10分の6を乗じて得た額に満たない場合にあっては、予定価格に10分の6を乗じて得た額とする。

ただし、測量業務にあっては「10分の8」を「10分の8.2」とし、地質調査業務にあっては「10分の8」を「10分の8.5」、「10分の6」を「3分の2」とするものとする。

3 実施時期

平成31年4月1日以降に指名競争入札執行通知を行う工事から実施

最近の完成工事から

県央土木総合事務所等新庁舎について

石川県土木部監理課

1 経緯

金沢市泉本町地内の旧県央土木総合事務所庁舎は、昭和44年の建築後、半世紀近くが経過し、県内の土木事務所の中で最も古く、施設の老朽化や狭隘化が著しいばかりでなく、耐震基準を満たしていませんでした。また、平成16年度の土木事務所の再編により、金沢市からかほく市までの南北に細長い管轄区域の南端に位置しておりました。

こうした状況を踏まえ、管轄区域のほぼ中央に位置し、金沢外環状道路海側幹線沿いで交通アクセスがよい、直江地区に移転整備することとし、県有地に隣接する用地を取得して、平成29年秋から新たな庁舎の建設工事を進め、今般、完成を迎えました。



図 - 1 位置図

2 庁舎概要

4階建ての本館では、県央土木総合事務所のほか県央農林総合事務所や、関係団体である、いしかわまちづくり技術センターと農林業公社が入っております。

4階には100名程度が入れる共用会議室を設け、災害時には、道路や河川の現場映像を大型スクリーンに投影し、迅速に情報の共有や対応の協議を行うなど、県央土木総合事務所と県央農林総合事務所との連携をこれまで以上に強化してまいります。また別館には、計量検定所が入っております。

そして、新庁舎の外観は、本館北面を落ち着いた色調のガラス張りとして軽快なイメージを持たせるとともに、別館を含めアースカラーのタイルを使用することで、周辺の景観と調和するように配慮しました。また、エントランスや廊下の天井には県産の杉を使い、落ち着いた雰囲気の内空間としております。



写真 - 1 本館4階共用会議室



写真 - 2 庁舎全景



写真 - 3 本館1階エントランス



写真 - 4 本館2階県央土木総合事務所執務室

3 規模・構造等

敷地面積：9,791㎡

庁舎延床面積：8,301㎡・鉄骨造

本館（4階建て）		別館（3階建て）	
4階	会議室等		
3階	いしかわまちづくり技術センター 農林業公社		書庫
2階	県央土木総合事務所		計量検定所等
1階	県央農林総合事務所		車庫、タクシーメーター検査場

4 新庁舎完成式

平成31年3月10日には、「県央土木総合事務所等新庁舎完成式」が、知事、宮本参議院議員、石川県議会議員、管内市町長など多数の関係者列席のもと、盛大に執り行われました。また、完成式後には、多数の方々に施設を御覧いただきました。



写真 - 5 完成式テープカット



写真 - 6 内覧会

5 最後に

新庁舎では、各機関の職員が一体となって、県民の皆様の期待により一層応えることができるよう努めていくとともに、この地域の賑わい創出にも貢献していきたいと考えております。

平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.3

施工企業名：小倉建設株式会社

工事名 笹尾通常砂防工事（本堰堤工）

工事分野 砂防工事

施工場所 羽咋市鹿島路町 地内

工事概要

本堰堤工 H=11.5m, L=50.0m, V=627m³

工期 平成29年3月2日～平成29年12月8日

推薦理由

土石流危険渓流内にある既設砂防堰堤をかさ上げ・増厚する工事であり、既設部と新設部の一体化が課題であったが、既設部表面をチップングした後、空気圧縮機による清掃を入念に行い、さらに打音検査により浮きやひび割れの処理を確実に実施するなど品質面の工夫を行い、既設部と新設部の着実な一体化を実現した良好な施工であった。

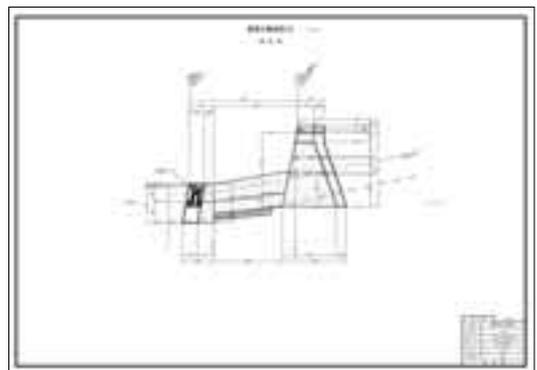
地元高校生の現場見学を受け入れることで建設工事のイメージアップに努め、地元住民に広報誌を配布し、意見や苦情を迅速に収集することで対応に遅れがなかった。



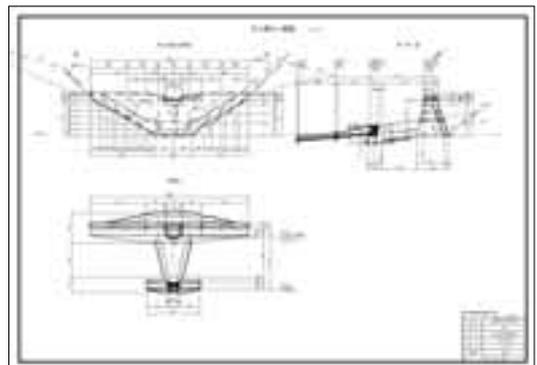
完成 左岸側から右岸側を望む



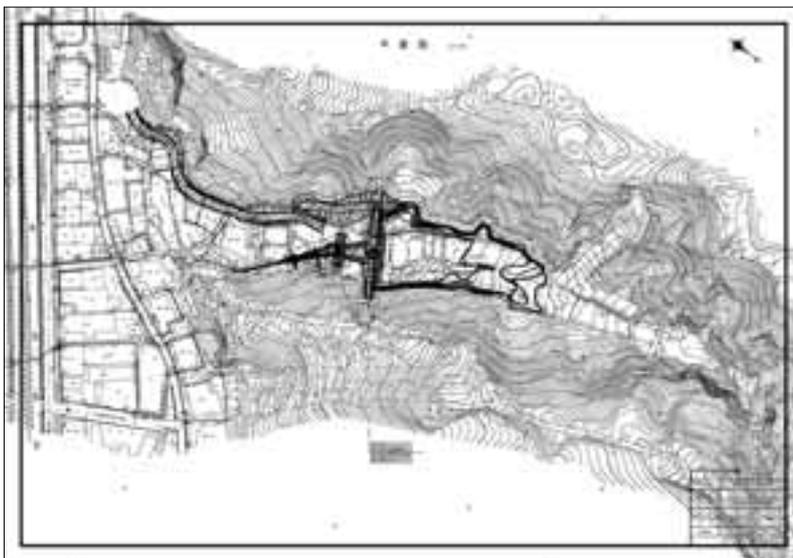
完成 上流から下流を望む



断面図



一般図



計画平面図



既設堰堤 背面掘削完了



既設堰堤 背面掘削状況



空気圧縮機による清掃



打音検査状況



地元高校生 現場見学会

現場代理人のコメント



現場代理人
谷口博之氏

この度は、優良建設工事知事表彰を受賞させていただき、誠にありがとうございます。

工事に関しご指導いただきました中能登土木総合事務所の皆様、地元の方々、工事関係者の皆様には、大変お世話になり心より感謝、お礼を申し上げます。

本工事は、既設堰堤の腹付け工事であり、新旧のコンクリートの一体化が求められ、既設コンクリートを傷めず、躯体を1.5m厚くするものであります。

・コンクリートの一体化について

既設堰堤のはつり面は、4cmの残存型枠であり、4cmすべてをはつり取るのか、2cm程度の箇所にある金網を残して行うのか、損傷度合いの判断が難しいため試験施工を行いました。結果、部分的に金網の見える1cm～2cm程度が損傷も少なく、浮きもなかったため、それを目安にて作業を進めました。はつり、清掃後、順次たたき検査にて、浮きやひび割れ等がないか全面を人力にてたたき検査し、不良箇所がないか確認を行いながら品質管理に努めました。

・掘削土砂の運搬について

新設コンクリートの腹付けは、既設堰堤の背面部であり、掘削土砂を背面から前面に運搬する必要がありました。30度勾配の仮設道路を使用し不整地運搬車で運搬するか、クレーンで土砂バケット等による運搬をするか検討しました。仮設道路は勾配があり、滑りやすく、クレーン運搬より危険と判断し、65tクレーン＋土砂バケットにて施工することにしました。しかし、運転手からはバケット位置は目視できないため、クレーンカメラの設置、合図者の配置、無線機の使用を取り入れ、何とか無事に運搬することができました。

以上の2点について、特に留意し作業を進め、無事無災害で品質の良い構造物を築造することができたと思っています。

今後も本工事で学んだことを生かし、より良い品質でより安全な工事を心掛け、地域の皆様に安心していただける工事を行っていきたく思います。関係者の皆様、本当にありがとうございました。

雇用改善コーナー

工業系高校生等の富士教育訓練センター派遣事業感想文

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、若手建設労働者の育成事業の一環として、建設業界に就職が内定している県内の高校生等を対象とした富士教育訓練センターへの派遣事業を実施した。

以下は、富士教育訓練センターでの研修体験を綴った受講者のレポートの抜粋となります。



入職企業 南建設(株)

石川県立羽咋工業高等学校 野口翔太

私の課題は、一日でも早く仕事現場の環境に慣れること。少しでも早く仕事を覚えて、先輩や上司に迷惑をかけずに仕事をこなすことです。その為には、わからないことがあれば先輩に訊いて、一度した失敗は2回目以降はしないことを心掛けていくことが大切だと考えます。今回の研修で身につけたものを武器に日々仕事に励んでいきたいと思いました。

入職企業 高田産業(株)

金沢市立工業高等学校 中村一真

社会に出ると、コミュニケーションがとても大事になってきて、コミュニケーションがとれないと、仕事を進めることや出世もできないと聞きました。だから第一歩として、あいさつからしっかりしていきたいと思いました。その他にも色々なことを講義で聞きました。そのことを活かして、これからの長い社会人人生を歩んでいきたいと思いました。

入職企業 (株) 吉光組

石川県立小松工業高等学校 宮田和季

この研修を通じて、声の大切さを知りました。自分の中では大きな声であいさつしているつもりでも、相手には聞こえていないと意味がないので、大きな声ではっきりと言うことの大切さを実感しました。また、声だけでなく、何かしらの手信号や体を使っての合図などもコミュニケーションの一つで、危険防止にも繋がるとわかり、良い体験になったと思いました。

入職企業 北川ヒューテック(株)

石川県立羽咋工業高等学校 府中亮太

今後は、とにかく学生気分を捨てること、仕事というものへの責任の持ち方を重視していきたいと思いました。入社直後は失敗が必ずあると思いますが、失敗を恐れず、積極的に上司や先輩に質問して、一日でも早く仕事の内容を覚え、社会の一員となれるよう努力していきたいと思いました。常に向上心を持って頑張ります。

入職企業 (株) 長坂組

金沢市立工業高等学校 利田孝介

自分の通う学校だけでなく他校の生徒や、他の団体の人達が大勢いる中で、7日間過ごしてきました。あいさつや日常会話を交わして、改めてあいさつは大事なことだと実感しました。資格を取るための勉強

はもちろん、社会人として大事なことも学ぶことができました。就職後は必要になる資格ももっと多くなると思うので、大変だと思いますが頑張りたいです。

入職企業 (株)向出組

石川県立小松工業高等学校 宮城可菜

私は7泊8日のこの研修を通して、少しではありますが、人見知りがなくなった気がしています。なぜなら、あいさつをする場面が多かったからです。あいさつをすることもコミュニケーションの一つだと思います。緊張もほぐれていきました。社会に出る前に、とても貴重な体験をすることができたなと感じております。7泊8日という期間でしたが、自分なりに成長することができました。

入職企業 (株)杉本工務店

石川県立羽咋工業高等学校 坂口陽音

私はこの研修を通じて、「自分の甘さ」を自覚させられました。研修の講師の先生方は皆さん様々な現場で働かれていますので、どのような人材が欲しい、気をつけなければならないこと等、たくさんのお話を伺うことができました。建築では、現場の様々な役職の方と関わり合っていかなければいけないということ、毎日、暑い中寒い中でも作業を行っていく為に忍耐力をつけなければいけない等、色んなことを感じさせられ、今までの学校生活で自分が色々なことに対して甘えていたのかと気付かされたように思います。



入職企業 城東建設(株)

金沢市立工業高等学校 福田一生

私は、この研修を通して社会人としての心構えを学ぶことができました。1日目・2日目の花輪先生の講義では、改めて自分自身を見直すと共に、学生から社会人へと変わっていくための大きな一歩になったと思います。また、コミュニケーション及び計画の大切さを知ることができ、これからの仕事に活かしていきたいと思いました。

入職企業 (株)ヨネミツ

石川県立小松工業高等学校 笠間大輝

今後は、今回の移動式クレーン・玉掛け技能講習と同じように、他の資格もしっかり授業を聞いたり、技能を受けたりして、少しでも資格の量を増やしていきたいと思います。仕事もわからないことがあったら、上司の方に相談したり、質問するなどして、わからないことを減らしていき、発注者が納得してくれるような仕事をしたいと思います。

入職企業 北陸エースコン(株)

石川県立穴水高等学校 宮下直也

この研修を通じて、仕事に対する意欲が増しました。穴水高校から一人で来たので、友達や話せる人がいなかったけど、みんなから話をしてくれて嬉しかったです。また、最初は早く帰りたいと思っていたけど、友達が増えたら楽しい気持ちの方が大きくなりました。小型移動式クレーン・玉掛けの両方の資格に合格しました。富士教育訓練センターに来て、勉強だけでなく色んなことを学びました。



地区協会コーナー

人材確保も地産地消で 地元高校生との繋がりを求めて

(一社) 珠洲建設業協会

奥能登地域では少子高齢化が加速化し、建設系の高校も無くなって12年が経過し、建設従業員の確保が極めて深刻な状況になっています。外国人実習生の受入れも考えてはいますが課題も多いと感じています。

平成26年度に石川県建設業協会並びに石川県建設産業連合会で策定された「いしかわの地域を支える建設産業ビジョン」では、自ら取り組むべき課題として広報力の強化があり、幼児・小学校低学年からの出前講座が明記されたことを受け、中市会長の強いリーダーシップで「けんせつフェア重Kids」を始めたのはこの年でした。当時、小学6年生だった子供達は今、高校1年生になっています。

そんな訳でもないと思いますが、今年になって中市会長の鶴の一声で、飯田高校生との意見交換会を企画することになりました。

1. 飯田高等学校を訪ねて

3月4日、校長先生と総合学科の担任の先生との懇談で総合学科の授業の中に「地域学・総合的学習」の時間があることを知り、まずは1年生を対象に「建設業を知ってもらう」機会を頂くことになりました。時間は1回に2時間で、年に3回行う予定です。



2. (仮称) 広報・研修部会の設置

協会内に役員4名を中心とした臨時部会を設置し、3回の授業の内容を企画することになりました。

3月21日に第1回の部会を開催し、1回目の授業では、パンフレットやパワーポイントにより建設産業の種類や珠洲地域の土木・建築の施設を紹介し、杭ナビ体験も行うことにしました。

3. ホームページの構築

現代の高校生の情報収集手段であるパソコンやスマートフォンからも、建設業を知ってもらうために、珠洲建設業協会のホームページを構築し、会員企業や工事現場の進捗状況、さらには現場見学会等の情報提供をしていきたいと考えているところです。



会員リレーコーナー

184 道場建設株式会社
(所在地：小松市串茶屋町い198番地)



社章

弊社は昭和35年、杉の名産地である小松市大杉から材木商としてスタートしました。以来、今日まで永年にわたり、木のスペシャリストとして、森林を育て、匠の技を磨き、地元のスギをはじめ、アテ、ヒノキ、ヒバ、マツなど一つ一つの木の長を生かした住まいづくりのお手伝いを重ねてまいりました。そして住宅建築会社の中でも優れた建築用材を優れた技術で扱うことで高い評価をいただき、独自の地歩を築いてまいりました。本物志向・健康志向が高まる今、木の家で住まいづくりを、とおっしゃるお客様が増えています。

一方で本当に木の良さを生かした住宅が少ないのも実情のようです。木は自然に育まれた「生きた素材」ですから、同じ種類の木であっても一本一本で違った個性を持っています。それぞれの木の個性を知り、まさに適材適所の名のとおり木の能力を最大限に引き出すことが、木の住まいの良

さを実現するための前提にあると当社は考えています。こうした考えと実績をもとに、当社の永年のノウハウを集め木の恵みを活かした住まいづくりをご提案申し上げますのが「き楽な家」です。ここを癒す美しい無垢の梁や木目、気持ちのいい木や自然素材のこちよさ、自然素材ならではの森の中にいるような香り、自然の恵みがもたらすおいしい空気、春夏秋冬一年を通して四季の移ろいを楽しむ風景。ここを癒す自然の恵みが住む人の五感を心地よく包みこみます。「き楽な家」は光や空気の流れを感じさせる、ゆったりとしたデザインを基本に、家族同士のコミュニケーションが生まれる空間づくりを大切に考えています。家族構成やライフスタイルの変化に対応できる可変性のある間取りなど長寿命な家づくりをご提案しています。

最後になります、働き方改革、担い手不足と言われる昨今ですが、これからも地元地域のために努力すると共に、建設業界の発展にも微力ながら貢献していきたいと思えます。

今回は須美矢建設株式会社 代表取締役 中谷宣章さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いたします。

(道場建設株式会社 代表取締役 道場義継)



地元産の無垢材 自然素材を多用した住まい『き楽な家』

き楽な家

きらく 楽な家

喜楽な家 須美

<http://www.kirakuna-ie.co.jp/>

総合建設業 自然と共生、社会に貢献

道場建設株式会社

MICHIBA KENSETSU CO.,LTD

石川県小松市串茶屋町い198番地 TEL. 0761-43-0223 FAX 0120-43-0198

今月の「輝き！」さん

No. 49



株式会社 山崎建設 山崎美智夫さん

役 職：代表取締役
年 齢：36歳

七尾市小島町の(株)山崎建設に今月の輝きさん山崎美智夫社長をお訪ねし、いろいろお話をお伺いいたしました。

- あなたのご紹介と会社の概要について教えてください。
私は、この会社の3代目で就任3年目です。会社はもともと旧中島町にあったものを10年ほど前に現在の小島町に移しました。従業員は8名で土木工事を主としています。会社のモットーというか座右の銘は先代社長の実父から教わった「おかげ様」ということです。毎日仕事ができること、家族みんなが健康であることに対し、仕事を頂く人や下請けの会社、そして社会全体、もちろん神仏の「おかげ様」と思うことです。

(これを聞いたとき、平易な言葉であると同時にこの若さでこのワードが出てくることに感心した。)

- 羽咋工業高校、大学とラグビーをされていたとお聞きしました。また、地元の消防団に入るなど本業の傍ら地域貢献も積極的にされておられるようですが、休日はどのように過ごしておられますか？
現在、家族は妻と3歳の男の子の3人です。春にはもう一人増える予定です。休日は子供中心で過ごしています。

- 現在、業界挙げて、担い手の確保、特に休日の確保に取り組んでいますが？
弊社は、第2、第4土曜日が休日になっており4週6休を取り入れています。

- 御社は、鉄道関連工事においては能登地域で随一の特任会社とお聞きしておりますが、会社ではどのようなお仕事をされていますか？
社長として会社経営全般をみていることは当然ですが、現場監督として第一線に立って仕事をしています。昨年夏の中能登豪雨災害では寝食を忘れての応急復旧に当たり、河川護岸の復旧やのと鉄道沿線での倒木、土砂除去に奔走しました。特に鉄道関係の復旧は列車を1分でも早く通すことが最優先に求められ、図面も何も無しの状況で現場での口頭指示だけで復旧に当たりました。

(訪問当日も、取材後、イーゼースラブ橋の材料検査で出張されるということでした。)

- 仕事のやりがいや、この仕事でよかったと思うことはありますか？
災害復旧で通行止区間が通れるようになって住民から感謝される時はうれしいです。
また、工事現場は工場とは違って、いろんなやり方があり、工程や仕事の段取りを工夫することでより利益を出せたり工期を短縮することが出来るので、そういった面でやりがいのある仕事だと思っています。

- 会社の課題、将来に向けた思い、目標は？
小さな会社ですが、ICTなど新しい技術の導入に取り組んでいきたい。また、鉄道など得意分野の技術を更に磨き独自性を持つとともに、社会や業界の変化に柔軟に対応しつつまでも地域に必要とされる会社にしていきたいと思っています。

HELL OF FIVE
FIREMAN

けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

委員会の開催

土木委員会

海外研修会の開催

平成31年3月6日(水)から10日(日)、土木委員会は会員の技術力向上の一環として研修会を開催するもので、今回はベトナム社会主義共和国におけるJICA事業やODAなどの日本政府の支援によって整備が行われているインフラ事業や歴史的建造物保存状況などの視察を目的に、今年度は総務部会(部会長 竹腰勇ノ介)と施工管理部会(部会長 向出剛一)の2部会合同による研修会を土木委員会構成委員16名(事務局1名含む)の参加により行った。

【主な視察施設】

1. ダナン港視察

ダナン港はベトナムで3番目に大きな商業港であり、ミャンマー、タイ、ラオス、ベトナムをつなぐ「東西経済回廊」の起点として重要な役割を担っている。この港は老朽化が進み、大型船舶への対応ができていないなどから日本政府からの資金援助(ODA)により改良事業が進められており、防波堤の建設、港の浚渫のほか、コンテナクレーン、コンテナヤード、管理棟等の新設が行われ、この改良事業により、同港の貨物取扱量を年間500万トンにする計画となっている。

2. ハイバントネル視察

ハイバントネルは全長6,280mの東南アジアでは初めての長大道路トンネルである。このトンネルは2001年5月に着工し、その後4年の歳月と総工費約200億円を投じ、このうち日本政府からの資金援助(ODA)として約189億円を拠出し完成した。このトンネルの完成により、これまで常に危険と隣り合わせだった急カーブが続く全長14kmの越境道路通過に要した約1時間の所要時間がわずか10分程度に短縮され、南北地域間の物流・交流促進につながっている。

3. 歴史的建造物保存状況等視察(フエ市)

フエ市は、ベトナム最後の王朝であるグエン朝の国都があった市であるが、ベトナム戦争によって歴史的建造物群が甚大な被害を受けており、その保存及び修復が課題となっている。このため、ベトナム中央政府等によって復元されつつあるが、その保存費用については、日本の支援によって行われている。このフエの遺跡は、世界遺産に登録されている。

4. 街並み保存状況等視察(ホイアン市)

約180年前の街並みを残す旧市街には、風情のある古い木造建築が建ち並び、東南アジアでも随一といわれ、1999年に世界遺産に登録されている。15世紀には国際貿易都市として栄え、世界各国の建築様式の建物が点在し、16世紀には1,000人以上の日本人が住んでいたとされ、日本とは歴史的に深いつながりをもっている。



ダナン港視察(集合写真)



ハイバントネル視察(集合写真)



フエ市の歴史的建造物保存状況等視察
(集合写真)



ホイアン市の街並み保存状況等視察状況

5. ミーソン遺跡視察

ミーソン遺跡は、2～17世紀にかけて栄えたチャンパ王国の聖域跡で、1999年に世界遺産に登録されている。建物は接着剤を使わず、すり合わせて造られたレンガ建築で、緑あふれる自然と遺跡が融合した景色となっている。この遺跡はベトナム戦争中、北ベトナム解放軍が本拠地としていたため、アメリカ軍の爆撃にさらされ、壊滅的な打撃を受けたため、現在は修復と保存が進められている。

今回は、海外での現地視察を通して、日頃経験することのないベトナムの交通事情や歴史・文化、国がかかえている課題などを把握することができ、また、会員相互の親睦も深まり、楽しく、充実した5日間であった。

最後に一言。今回の海外研修会ですが、出発直前（5日前）に旅行業者の大失態（過失による債務不履行が発生）により、参加者全員の往復航空券の手配がされていないという前代未聞の大トラブルが生じたが、土木委員長が海外旅行の達人であったため、委員長の航空券手配術のノウハウを活かしてインターネットを駆使し、旅行業者に各航空会社の空席状況を伝え、この大ピンチ状態を回避することができた。今回は予想もしない大トラブルに見舞われたが、危機管理の対応策の一つとして捉え、貴重な経験することができた。（土木委員会事務局）



ミーソン遺跡視察状況

建築委員会

能登地区安全パトロール開催

安全部会（部会長 連 友也）は、3月7日（木）に、平成29年度能登町新庁舎建設工事現場にて、安全部会員8名と（一社）珠洲建設業協会・（一社）鳳輪建設業協会・（一社）七尾鹿島建設業協会・（一社）羽咋建設業協会の地区協会員16名、計24名の参加にて現場安全パトロールを行った。

連部会長挨拶の後、研修会で、建設業労働災害防止協会石川支部の村内博氏より「最近の労働災害防止の現状について」と題し建設業における労働災害の発生状況、第13次労働災害防止計画、第8次建設業労働災害防止5カ年計画、労働安全衛生マネジメントシステムについて説明を受け、安全対策の必要性を確認した。

引き続きパトロールで、施工業者真柄・宮下・鼎JVの濱田 守現場代理人より工事概要の説明を受けた。この現場では職人不足、塩害対策等のため石川県では初めての施工となるプレキャスト柱・プレキャスト梁・ハーフプレキャスト床を採用しておりPC工法の作業工程、柱建て方時における位置・レベル・建てりの確認、機械式鉄筋の採用、グラウト材の注入、PC梁の吊り込み、梁主筋の機械式接手、PC床版の架設等における注意点を詳細に説明を受けた。

現場は躯体工事はほぼ完了しており外壁材の取り付け、1階からの仕上げ工事中であるがPC構法のせいも整然としており模範的な安全パトロールとなった。

パトロール後、建災防協会の村内講師より安全パトロールでの講評を受け、最後に長坂知通安全部会担当副委員長の挨拶で散会となった。



PC梁の吊り込み工事

土地改良委員会

全体会議の開催

土地改良委員会（委員長 真柄卓司）は、3月20日（水）にANAホリデイ・イン金沢スカイにて「土地改良委員会 全体会議」を開催した。

土地改良委員会（91会員）の全委員が一同に会する「全体会議」は、石川県農林水産部より西川農林水産部次長以下4名、会員及び事務局57名の出席の下、冒頭、真柄委員長の挨拶の後、西川農林水産部次長の祝辞をいただいた。会議の内容は次のとおり。



1 事業報告について

土地改良委員会の平成30年度の事業報告の後、平成31年度事業計画については、正副委員長等と協議し役員会に諮り日程等が決まり次第、案内することが事務局より報告された。

2 県からの情報提供について

1)「農業農村整備事業関係予算について」は、農業基盤課 家元担当課長から、平成30年度補正及び平成31年度農業農村整備事業関係予算について説明を受けた。

2)「設計積算の改訂等について」は、農業政策課技術管理室 三浦担当課長から、3月改訂の労務単価について、スライド協議対象等の注意事項を含め説明を受けた。

3 特別講演について

「大区画ほ場整備の推進」と題して、県農林水産部農業基盤課 渡辺課参事より、大区画化等により低コストで効率的な農業の展開を目指す「ほ場整備事業」について、農地中間管理機構を活用するなどし、企業を含む多様な担い手へのさらなる集積を目指す新しい事業制度を交え、最近の情勢について講演いただいた。

広報・研修委員会

企画部会の開催

企画部会（部会長 高田直人）は、3月19日（火）午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について次の通り審議・報告を行った。



1 協会報4月号について

事務局説明の編集計画が承認された。

2 研修所からのお知らせ

・建設業税財務講習会の開催結果

・平成31年度新入社員研修

・登録解体工事講習会

・平成30年度事業実績

について概要の報告が行われた。

3 その他

来年度のドローン講習会等について意見交換が行われた。

平成30年度「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」結果

1、平成30年度の結果について

今年で19回目となる恒例の「けんせつセーフティ・ドライブコンテスト」は、昨年6月にスタートし本年2月までの9ヶ月間をもって終了しました。本年度は、参加チームが昨年度に比べ若干の減少となりましたが、深い関心を持って取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

なお、本年度の結果ですが、チーム達成率は64.7%で前年比0.8ポイント下回りましたが、個人達成率は91.3%で前年並となりました。

交通違反の傾向としては、例年どおりシートベルト非着用、携帯電話使用、一時不停止、制限速度超過の違反が多く見られましたが、携帯電話使用と速度超過違反が前年比54.5%の減となりました。今後も、交通ルールを遵守し交通事故の防止に努めましょう。本年度の参加状況、達成状況等については次のとおりです。

参加状況・達成状況

区分 【会員数】	参加状況			達成状況			
	チーム 参加数	参加率	参加人員	チーム 達成数	チーム 達成率	個人 達成数	個人 達成率
金沢 【88】	106 (3)	120.5%	526 (16)	66	62.3% (0.8)	476	90.5% (0.7)
加賀 【34】	23 (1)	67.6%	114 (5)	13	56.5% (14.3)	102	89.5% (2.9)
小松 【64】	68 (3)	106.3%	339 (15)	43	63.2% (4.7)	306	90.3% (0.8)
白山 【84】	82 (0)	97.6%	406 (1)	58	70.7% (3.7)	377	92.9% (0.7)
河北 【26】	27 (0)	103.8%	134 (1)	14	51.9% (0)	118	88.1% (3.1)
羽咋 【38】	33 (53)	86.8%	165 (265)	24	72.7% (5.3)	152	92.1% (0.2)
七尾 【39】	87 (0)	223.1%	429 (0)	55	63.2% (3.4)	389	90.7% (1.0)
鳳輪 【53】	37 (0)	69.8%	185 (0)	27	73.0% (8.1)	175	94.6% (0)
珠洲 【30】	53 (1)	176.7%	263 (6)	33	62.3% (4.4)	242	92.0% (0.6)
県協会	3 (0)		15 (0)	3	100% (66.7)	15	100% (20.0)
合計 【456】	519 (49)	113.8%	2576 (245)	336	64.7% (0.8)	2352	91.3% (0.2)

参加率の分母は地区協会の会員数です。
()は前年度対比数で整数は増加 印は減少を表します。

交通事故・交通違反の状況

未達成者224名の交通事故・交通違反状況

未達成原因	件数 (前年度対比)	内 訳 (前年度対比)
交通事故	6件 (-2)	死亡事故0件 (±0) 重傷事故1件 (+1) 軽傷事故4件 (-1) 物損事故1件 (-2)
交通違反	239件 (-157)	速度違反 43件 (-56) 【内30キロ以上の速度違反5件 (-3)】 信号無視 18件 (+2) 一時停止 30件 (-5) シートベルト 68件 (-25) 携帯電話 59件 (-66) その他 21件 (-7)

2、平成30年度優良地区協会

本年度の参加率及び達成率優良地区協会は次のとおりとなりました。

- 参加率優良地区協会・・・(一社)七尾鹿島建設業協会
- 達成率優良地区協会・・・(一社)鳳輪建設業協会



抽選会風景

3、達成率の年別推移

年度	達成チーム / 参加チーム	チーム達成率	達成人員 / 参加人員	個人達成率	備考
24	284 / 508	55.9%	2249 / 2531	88.9%	実施期間 平成30年6月1日から 平成31年2月28日までの 9か月間
25	303 / 509	59.5%	2259 / 2529	89.3%	
26	295 / 523	56.4%	2298 / 2592	88.7%	
27	340 / 541	62.8%	2443 / 2692	90.8%	
28	321 / 548	58.6%	2436 / 2724	89.4%	
29	372 / 568	65.5%	2570 / 2821	91.1%	
30	336 / 519	64.7%	2352 / 2576	91.3%	

4、平成30年度食事券獲得30チームの抽選結果について

本年度無事故無違反を達成した336チーム中、食事券獲得30チームは、本年3月19日(火)開催の広報・研修委員会企画部会で抽選の結果、次のとおり決定しました。

平成30年度「けんせつSDコンテスト」食事券獲得チーム

地区協会別	会社名	チーム名
金 沢	大日土建(株)	大日安全クラブ
	北陸地建(株)	きりん1
	北川ヒューテック(株)	TAKASHI
	(株)明翫組	明翫組G
	みづほ工業(株)	みづほ工業(株)F
	(株)和泉建設	IZUMI II
加 賀	加州建設(株)	加州加賀
小松能美	一松建設(株)	ichi-B
	(株)寺田鉄工建設	チームIwamoto
	(株)トーケン	チーム積算
	本建設工業(株)	SI-PO
白山野々市	(株)奥田建設	OK'S18
	(株)慶伊組	keii
	橘建設(株)	タ
	(有)細川建設	細川建設
	みのり建設(株)	みのりC
河北郡市	中居土建(株)	Teamナカイ
羽咋郡市	石田工業(株)	G
	松谷建設(株)	TEAM40代
七尾鹿島	石丸工業(株)	イシマルC
	(有)新盛	新盛A
	(株)千場建設	せんぱC
	ナナオ土建(株)	ボトラーズNo.2
	(一社)七尾鹿島建設業協会	七鹿協会
鳳 輪	(株)新出組	しんでーず1
	三浦建設(株)	三浦建設(株)
	須美矢建設(株)	須美矢
珠 洲	(株)アメニティ	Candy
	(株)西中建設	ネクサス
	(株)丸中組	丸中C

食事券獲得チーム以外の達成チームは図書券となります。

建設青年委員会

北陸地方整備局企画部との意見交換会の開催

北陸建設青年会議（会長 開 章夫（富山県））は、3月12日（火）午後3時30分から新潟県建設業協会にて北陸地方整備局企画部との意見交換会を開催した。

北陸地方整備局企画部からは内藤正彦企画部長、小山浩徳地方事業評価管理官、安井辰弥企画調査官、村下 剛技術調整管理官、山本悟技術開発調整官のご参加をいただいた。

開会長挨拶の後、「働き方改革について」及び「生産性向上について」の2つのテーマで意見交換会を行った。委員からは、週休二日制導入についての問題点やICT施工に関する改善点等について質問があり、活発な意見交換が行われた。

石川からは北川委員長、明畷、吉光、辻森副委員長、事務局室山が参加した。



環境・情報対策特別委員会

建設廃棄物の適正処理に係る講習会の開催

環境・情報対策特別委員会（委員長 長坂知通）は、3月7日（木）に石川県建設総合センター7階ホールにて「建設廃棄物の適正処理に係る講習会」を開催した。

冒頭、建設マニフェスト販売センター総務部長 戸田伊作氏の挨拶のあと、下記内容にて講習会が行われた。

第1部 環境関連法体系と建設廃棄物及び排出事業者責任について

講師 戸田建設株式会社 高橋昌宏氏

第2部 建設リサイクル法及び廃棄物の委託処理について

講師 元 戸田建設株式会社 高橋辰男氏

第3部（主に建設系統）マニフェストによる管理について

講師 建設マニフェスト販売センター 戸田伊作氏

当日は、あいにくの雨模様だったが、講習会には89名が参加した。



暴力団等対策特別委員会

委員会の開催

暴力団等対策特別委員会（委員長 小倉 淳）は、3月27日（水）石川県建設総合センター401会議室において委員会を開催した。

冒頭、小倉 淳委員長から「業界に対する暴力団等の介入や不法行為は鎮静化の状況にあるが、彼らは姿かたちを巧みに隠し、関係者等を使って資金獲得活動を行っている。油断することなく体制を整えて一切の関係を遮断することが重要である。」と挨拶があり、続いて事



務局より平成30年度の委員会の活動が報告され承認された。その後、来賓としてお招きした県警察本部組織犯罪対策課 荒井 博課長補佐から「暴力団情勢と対策について」、(公財)石川県暴力追放運動推進センター 中島俊明専務理事から「センターの活動状況について」と題して講演をいただいた。委員会は、この後暴力問題等に関する質疑応答が行われ閉会した。

建設技術研修所

「i-con・BIM/CIM ビデオセミナー in 小松」の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)は、3月6日(水)、(一社)小松能美建設業協会において、(一社)日本建設情報総合センター、石川県土木施工管理技士会との共催で「i-con・BIM/CIM ビデオセミナー in 小松」を開催した。

講習会は、「BIM/CIMの動向と今後の展開」、「CIMに期待するもの 技術者の復権 1.5倍の生産性」の2つのプログラムが上映され、その後、「工事実績情報の登録」についてJACIC北陸地方センターより説明が行われた。

最新の土木技術の説明に参加者たちは熱心に聴講していた。

石川県土木施工管理技士会だより

JCM セミナー (DVD 講習会) の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、3月8日(金)に(一社)小松能美建設業協会、3月15日(金)に(一社)七尾鹿島建設業協会にてJCM セミナー (DVD 講習会)を開催した。

この講習会は、DVDによる講義(技術提案の超達人)を受講することにより、CPDSが4ユニット付与される。

今回は小松会場13名、七尾会場25名の参加があり、出席者は今年度最後のセミナーとあって、熱心に講義を受講していた。



小松会場



七尾会場

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会 主催

平成30年度

「私たちの主張」応募作品の紹介

「単純な理由から」

株式会社 高田組 中坂衣里

建設業の事務の仕事を作り始めて3年目になりました。私が建設業で働こうと思った理由は正直、特にありませんでした。私は商業高校出身で、いくつか資格を取得しました。自分が持っている資格を活かされる仕事をしたいと思い事務の仕事を選びましたが、何の事務をするかは具体的には決めていませんでした。なぜ建設業にしたかという、今働いている会社の説明会で説明を聞いた時のことでした。「子供たちにとってより良い未来となるように、地域貢献を大切に、地元で愛される企業を目指していきたい」と言っているのを聞いて、なんだか素敵だなあと感じ、そんな単純な理由がきっかけで建設業で働くことに決めました。

入社時はお茶の出し方や、書類の整理の仕方など基本となることを教えてもらいました。その中でも特に私が苦戦したことは、受付でお客様の対応をすることと、電話対応です。聞き慣れない会社の名前がほとんどだったので、間違えずに聞き取ることが難しかったです。会社の名前やお客様の名前を聞き間違えたまま、社内の人に伝えてしまい迷惑をかけてしまったこともありました。でも、ミスをしたときは、その会社の名前は次からは絶対に間違えないように頭に叩き込んで、覚えることができました。また、受付では、来ていただいたお客様に少しでも良い会社だと思ってもらえるように、常に笑顔を忘れないように心がけました。そのおかげか、顔を見ただけでこの会社の人か分かるようになったり、気さくに話しかけてくれる人もいて嬉しいです。

入社して1ヶ月ほどたったときに、産休に入られる先輩の仕事を引き継ぐことになりました。仕事内容は主に、他の会社から送られてくる請求書の処理や、工事看板・黒板の作成などでした。覚えないうけないといけないことがたくさんあって、時間が

あっという間に感じるほど大変でした。なるべく同じことは聞かないようにしようとメモもたくさん取りました。それでもやっぱり分からなくなってしまい、何度も質問してしまいましたが、嫌な顔をせず丁寧に優しく教えてくれました。先輩がいなくなってしまうと、自分ひとりでやっていかなければいけないので、いらっしゃるうちになるべくたくさんの方の話を吸収しようと必死でした。特に現場の人との関わりが深い仕事なので、現場の人と先輩の信頼関係がすごく、私もいつかそうなりたくて強く思いました。

丸2年たった今でも、日々勉強することばかりです。私の周りの人たちは本当に優しい人ばかりで、困っている時は一緒になって考えてくれて、私が間違っているときはちゃんと正してくれます。その度に、周りの人に恵まれているなど実感し、もっともっと頑張らなくてはならないと思わされます。

そして、この業界で働く人に、私は怖いイメージを抱いていました。ですが仕事を通して、社内や社外のいろんな人たちと関わりましたが、そんな人は一人もいませんでした。みんな優しく、個性的で楽しい人たちばかりです。どんなに暑い日、寒い日、雨の日や夜間作業などで仕事を終えて戻ってくる現場の方たちを見るたびにとても誇らしい気持ちになります。私もさらに仕事を頑張ろうと思います。

普段何気なく通る道や利用する建物は、たくさんの方の建設業で働く人たちによって作られています。常に感謝の気持ちを忘れずに持っていたいと思います。私はまだまだ、建設業の魅力や奥深いところに気づいていないと思いますが、私のように少しでも興味を抱いて働きたいと思う人が増えてほしいと思います。

業界時報

平成31年4月 人事異動（関係分抜粋）

（ ）は前任地

国土交通省

北陸地方整備局

職名	氏名	前任地職名
建政部長	佐藤 研一	(国土技術政策総合研究所 都市研究部長)
用地部長	福田 克彦	(総務部 総括調整官)
総括防災官	小山 浩徳	(北陸地方整備局 地方事業評価管理官)
主任監査官	鷗川 和彦	(阿賀野川河川事務所 副所長)
広報広聴対策官	三塚 明彦	(大臣官房 福利厚生課 企画専門官)
適正業務管理官	高崎 一則	(総務部 総務課長)
防災管理官	赤池 嘉彦	(阿賀川河川事務所 副所長)
防災情報調整官	見田 弘幸	(企画部 防災課長)
防災室長	堀内 崇志	(千曲川河川事務所 副所長)
災害対策マネジメント室長	稲本 義昌	(企画部 緊急災害対策調整官)
企画部 技術企画官	末永 清和	(港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課長)
企画部 環境調整官	二木 涉	(三国川ダム管理所長)
企画部 技術調整管理官	山本 悟	(企画部 技術開発調整官)
企画部 技術開発調整官	山田 幸男	(利賀ダム工事事務所長)
企画部 事業調整官	杉 浩行	(道路部 道路工事課長)
企画部 工物品質調整官	岡田 茂彦	(利賀ダム工事事務所 副所長)
企画部 総括技術検査官	南雲 克彦	(河川部 地域河川課長)
企画部 企画課長	渡邊 望	(企画部 企画課長補佐)
企画部 技術管理課長	村上 和久	(富山河川国道事務所 副所長)
建政部 建設産業調整官	山口 幸儀	(国土政策局 広域地方政策課 広域制度企画室 課長補佐)
建政部 建設業適正契約推進官	石川 孝行	(新潟国道事務所 副所長)
建政部 住宅調整官	中田 修	(中国地方整備局 営繕部 営繕品質管理官)
河川部 河川調査官	岡本 弘基	(東北地方整備局 湯沢河川国道事務所長)
河川部 地域河川調整官	福田 光生	(湯沢砂防事務所 副所長)
河川部 河川情報管理官	柳 正市	(阿賀川河川事務所長)
河川部 水政課長	齋藤 康之	(水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 総務係長)
河川部 地域河川課長	内藤 和久	(信濃川下流河川事務所 副所長)
河川部 河川管理課長	渡邊 一成	(富山河川国道事務所 副所長)
河川部 水災害対策センター長	鈴木 忠彦	(阿賀川河川事務所 副所長)
道路部 地域道路調整官	山岸 隆宏	(道路部 地域道路課長)
道路部 道路情報管理官	向田 満	(国営越後丘陵公園事務所長)
道路部 道路保全企画官	木村 祐二	(道路部 道路管理課長)
道路部 道路計画課長	神田真太郎	(十日町市 建設部 部長)
道路部 地域道路課長	安達 志郎	(金沢河川国道事務所 副所長)
道路部 道路工事課長	阿部 義孝	(長岡国道事務所 副所長)
港湾空港部 事業計画官	高野 政広	(敦賀港湾事務所長)
港湾空港部 技術審査官	田邊 文昭	(新潟市 都市政策部 港湾空港課長)
港湾空港部 港湾高度利用調整官	風間 悟	(伏木富山港湾事務所 副所長)
港湾空港部 港政調整官	鶴間 誠	(新潟港湾・空港整備事務所 副所長)

港湾空港部 品質検査官	山川 匠	(新潟港湾・空港整備事務所 前任建設管理官)
港湾空港部 港政課長	鈴木 伸一	(新潟港湾・空港整備事務所 総務課長)
港湾空港部 港湾管理課長	高橋 孝広	(総務部 契約管理官)
港湾空港部 港湾空港整備・補償課長	杉田 章二	(伏木富山港湾事務所 統括建設管理官)
港湾空港部 海洋環境・技術課長	荒木 誠一	(新潟港湾・空港整備事務所 工務課長)
港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課長	奥田 聡	(港湾空港部付)
港湾空港部 工事安全推進室長	橋本 正夫	(港湾空港部 品質検査官)
営繕部 官庁施設管理官	目黒 博栄	(建政部 住宅調整官)
営繕部 計画課長	谿花 範泰	(大臣官房 官庁営繕部 計画課 営繕積算高度化対策官)
営繕部 整備課長	松田 彩兵	(関東地方整備局 営繕部 計画課長補佐)
営繕部 技術・評価課長	笠間 哲也	(関東地方整備局 営繕部 営繕技術管理課長補佐)
営繕部 保全指導・監督室長	一戸 明	(関東地方整備局 営繕部 整備課長補佐)
金沢河川国道事務所		
副所長(事務)	小嶋 幸男	(総務部 建設専門官)
副所長(道路)	尾崎 誠	(建政部 都市・住宅整備課長補佐)
契約事務管理官	安中 秀雄	(北陸信越運輸局 交通政策部 環境・物流課長補佐)
用地対策官	中村 修二	(利賀ダム工事事務所 総務課長)
工事品質管理官	谷口 雄一	(富山河川国道事務所 事業対策官)
事業対策官	磯野 信樹	(道路部 建設専門官)
保全対策官	折橋 一禎	(北陸技術事務所 雪害対策官)
建設専門官	渡部 秀樹	(富山河川国道事務所 品質確保課長)
建設専門官	月田 孝	(富山河川国道事務所 黒部国道維持出張所長)
総務課長	本野 恒夫	(長岡国道事務所 管理第一課長)
用地第一課長	黒岩 哲晴	(金沢営繕事務所 総務課長)
用地第二課長	渡部幸太郎	(信濃川河川事務所 用地官)
工務第一課長	伏木 裕二	(富山河川国道事務所 工務第一課長)
品質確保課長	藤田 重敬	(神通川水系砂防事務所 工務課長)
調査第一課長	谷 茂行	(水管理・国土保全局 治水課 河川技術係長)
流域対策課長	岡嶋 康子	(黒部河川事務所 調査課長)
海岸課長	谷川 健一	(金沢河川国道事務所 河川管理課長)
河川管理課長	高橋 至	(立山砂防事務所 調査課長)
道理管理第二課長	飯田 和宏	(道路局 企画課付)
防災課長	山口 成昭	(企画部 情報通信技術課 電気通信管理主査)
手取川出張所長	九田 将茂	(金沢河川国道事務所 手取川ダム管理支所長)
小松出張所長	牛澤 秀光	(富山河川国道事務所 大門出張所長)
手取川ダム管理支所長	干場 浩幸	(高田河川国道事務所 直江津国道維持出張所長)
加賀国道維持出張所長	奥村 忠史	(富山河川国道事務所 建設監督官)
金沢営繕事務所		
総務課長	中野 理佳	(富山河川国道事務所 建設専門官)
技術課長	山本 彰良	(関東地方整備局 営繕部技術・評価課 保全指導・監督官)
金沢港湾・空港整備事務所		
補償調整官	高橋 直樹	(総務部 経理調達課長補佐)
総務課長	古田 健二	(金沢港湾・空港整備事務所 補償調整官)
工務課長	清水 利浩	(金沢港湾・空港整備事務所 企画調整課長)
企画調整課長	南 靖彦	(港湾局 海洋・環境課 海域環境係長)

石川県

農林水産部

部長級

参事（農業・農業土木担当） 西川 透 （農林水産部次長（農業土木担当））

次長級

農林水産部次長（農林業公社担当）

道下 真也 （農林水産部農業政策課担当課長（農林業公社担当））

南加賀農林総合事務所長（昇任） 米田 保宏 （南加賀農林総合事務所長）

石川農林総合事務所長 前川 久義 （中能登農林総合事務所長）

中能登農林総合事務所長 古西 広 （農林水産部農業基盤課長
兼農業参入・経営戦略推進室次長
兼里山振興室次長兼危機対策課担当課長）

奥能登農林総合事務所長 林 慎吾 （農林総合研究センター農業試験場副場長
兼砂丘地農業研究センター所長）

課長級

農林水産部農業基盤課長兼危機管理監室危機対策課担当課長兼農業参入・経営戦略推進室次長
兼里山振興室次長 家元 雅夫 （農林水産部農業基盤課担当課長（事業監理担当）
兼土木部都市計画課生活排水対策室次長）

農林水産部農業基盤課担当課長（里山振興担当）兼里山振興室次長 白池 秀紀 （県央農林総合事務所土地改良部長）

農林水産部水産課漁港漁村整備室長 横井 外行 （土木部監理課担当課長）

担当課長級

農林水産部農業政策課技術管理室担当課長 石垣 広男 （奥能登農林総合事務所土地改良部長）

農林水産部農業基盤課担当課長（事業監理担当）兼土木部都市計画課生活排水対策室次長 橋本 尚之 （農林水産部農業政策課参事
（農業参入・人材政策グループリーダー））

県央農林総合事務所土地改良部長 三浦 正幸 （農林水産部農業政策課技術管理室担当課長）

奥能登農林総合事務所土地改良部長 入田 清一 （中能登農林総合事務所管理部工事管理担当課長）

土木部

部長級

土木部長兼送水管耐震化推進室長

竹俣 隆一 （技監（土木担当））
鈴木 穰 （県央土木総合事務所長
併任送水管耐震化推進室次長）

参事（プロジェクト・港湾機能強化担当） 城ヶ崎 正人 （国土交通省水管理・国土保全局砂防部
砂防計画課地震・火山砂防室長）

土木部参与（建築・営繕担当）（再任用（更新））兼県民文化スポーツ部新図書館整備推進室次長 畝本 秀一 （参事（営繕担当）（再任用）
兼県民文化スポーツ部新図書館整備推進室次長）

県央土木総合事務所長併任送水管耐震化推進室次長 畠山 邦夫 （土木部次長（土木、まちづくり）技術センター担当
兼景観形成推進室長兼送水管耐震化推進室次長
兼危機管理監室次長兼生活環境部次長）

次長級

土木部次長兼土木部企画調整室長兼危機管理監室次長

飯田 重則

(総務部行政経営課長兼資産活用室次長)

土木部次長(土木、まちづくり技術センター担当)兼景観形成推進室長兼送水管耐震化推進室次長兼危機管理監室次長兼生活環境部次長

二塚 保之

(土木部道路建設課長
併任送水管耐震化推進室課長)

土木部次長兼水道企業課長兼送水管耐震化推進室課長

細沼 宏之

(土木部水道企業課長兼送水管耐震化推進室課長)

土木部参与(公園担当)(再任用(更新))

丸山 隆史

(土木部参与(公園担当)(再任用))

南加賀土木総合事務所長併任送水管耐震化推進室次長

藤本 康司

(土木部次長兼砂防課長
兼危機管理監室危機対策課担当課長)

石川土木総合事務所長併任送水管耐震化推進室次長

塚本 修一

(土木部都市計画課生活排水対策室長
兼生活環境部温暖化・里山対策室次長)

中能登土木総合事務所長併任送水管耐震化推進室次長

平田 浩一

(土木部河川課長
兼危機管理監室危機対策課担当課長)

奥能登土木総合事務所長

今井 洋

(奥能登土木総合事務所珠洲土木事務所長)

課長級

土木部監理課長

寺西 義行

(健康福祉部地域医療推進室次長)

土木部道路建設課長併任送水管耐震化推進室課長

鈴見 裕司

(土木部都市計画課長兼景観形成推進室次長
兼企画振興部企画課担当課長
兼農林水産部里山振興室次長)

土木部道路整備課長兼危機管理監室危機対策課担当課長

駒田 秀一

(土木部道路整備課担当課長)

土木部河川課長兼危機管理監室危機対策課担当課長

口田 光也

(土木部河川課担当課長)

土木部砂防課長兼危機管理監室危機対策課担当課長

本田 芳宏

(安原・高橋川工事事務所長)

土木部都市計画課長兼景観形成推進室次長兼企画振興部企画課担当課長兼農林水産部里山振興室次長

中村 博昭

(土木部道路整備課長
兼危機管理監室危機対策課担当課長)

土木部都市計画課生活排水対策室長兼生活環境部温暖化・里山対策室次長

浅井 豊弘

(県央土木総合事務所津幡土木事務所長)

土木部都市計画課担当課長(まちづくり技術センター担当)

田中 勉

(中央病院管理局用度課長)

土木部公園緑地課長

田村 功司

(中能登土木総合事務所羽咋土木事務所長)

南加賀土木総合事務所大聖寺土木事務所長

玉木 彰

(中能登土木総合事務所次長
併任送水管耐震化推進室担当課長)

県央土木総合事務所次長

西村 尚崇

(土木部港湾課担当課長
兼商工労働部産業立地課担当課長)

県央土木総合事務所津幡土木事務所長

吉本 一也

(中能登土木総合事務所次長)

中能登土木総合事務所羽咋土木事務所長

小真頼重仁

(土木部砂防課担当課長)

奥能登土木総合事務所珠洲土木事務所長

堂畑 則彦

(奥能登土木総合事務所次長)

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成31年分）

平成31年2月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	1	(2) 4	2	(2) 7	(1) 6	65
小松監督署	1	(2) 2		(2) 3	3	20
七尾監督署	1	(1) 2	1	(1) 4	1	15
穴水監督署		1		1	0	3
計	3	(5) 9	3	(5) 15	(1) 10	103
前年同期	3	(1) 4	3	(1) 10		188

()内は木建工事 内は死亡者数

平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民 間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
12月分	146	124	117.7%	1,575	1,695	92.9%	1,721	1,819	94.6%
1月分	107	102	104.9%	744	952	78.2%	851	1,054	80.7%
2月分	185	56	330.4%	1,333	1,678	79.4%	1,518	1,734	87.5%
年度累計	2,843	3,535	80.4%	22,421	26,270	85.3%	25,264	29,805	84.8%
28年度累計		4,612	61.6%		21,470	104.4%		26,082	96.9%
27年度累計		2,947	96.5%		26,900	83.3%		29,847	84.6%

官 公 庁

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
12月分	2,646	2,348	112.7%	621	3,245	19.1%	3,267	5,593	58.4%
1月分	1,901	1,965	96.7%	772	750	102.9%	2,673	2,715	98.5%
2月分	3,812	2,591	147.1%	282	945	29.8%	4,094	3,536	115.8%
年度累計	37,314	34,235	109.0%	10,064	18,583	54.2%	47,378	52,818	89.7%
28年度累計		46,734	79.8%		11,551	87.1%		58,285	81.3%
27年度累計		36,994	100.9%		13,518	74.4%		50,512	93.8%

合 計（民間 + 官公庁）

	30年度	29年度	%
12月分	4,988	7,412	67.3%
1月分	3,524	3,769	93.5%
2月分	5,612	5,270	106.5%

	30年度	29年度	%
年度累計	72,642	82,623	87.9%
28年度累計		84,367	86.1%
27年度累計		80,359	90.4%

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成31年4月行事予定

- 4月 1日(月) 石川県土木部長外 来訪
- 2日(火) 新入社員研修 開講式・講習
- 3日(水) 土木施工管理技士会 正副会長会議
正副会長会議
常任理事会
- 8日(月) 北陸地方整備局 佐藤建政部長着任挨拶
- 10日(水) 石川県 表敬訪問 (石川県庁)
- 11日(木) 建築委員会 技術部会
- 15日(月) 北陸地方整備局 情報交換会
土地改良委員会 正副委員長打合せ
金沢協会 監査
- 16日(火) 情報共有システム講習会(金沢協会)
建産連 事務局会議
- 17日(水) 情報共有システム講習会(金沢協会)
暴力モニター委嘱式 (石川県警本部)
- 18日(木) 会報編集委員会
金沢協会 理事会
- 19日(金) ドローン講習会(第2回)1日目
「歩いてみようのと里山海道」打合せ
(中能登土木総合事務所)
- 20日(土) ドローン講習会(第2回)2日目 (金沢市七曲)
- 22日(月) 広報・研修委員会 全体会議
尾山神社御鎮座百五十年式年記念事業奉賛会
(尾山神社 金沢關)
- 24日(水) 登録解体工事講習 (奥能登総合事務所)
- 25日(木) 事務局打合せ
登録解体工事講習
建退共 事務担当者説明会(～26日)
(東京 TKP池袋カンファレンスセンター)
- 26日(金) 正副会長会議

令和元年5月以降の行事予定

- 5月 8日(水) 講演会 (石川県地場産業振興センター)
懇談会 (ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 9日(木) 協会 監査
組合 監査
- 13日(月) 建災防 理事会
組合 理事会
協会 理事会
- 14日(火) 三県協会事務局打合せ (富山市内)
- 22日(水) 全建協連 総会
- 27日(月) 建災防 総会
組合 総会
協会 総会
- 29日(水) 全建 総会
- 30日(木) 青年委員会 全体会議 (七尾市)
- 6月 3日(月) 正副会長会議
常任理事会
- 7日(金) 測量コンテスト (奥卯辰山健民公園)
- 13日(木) 北陸地方整備局との意見交換会 (金沢東急ホテル)
- 21日(金) 石建産連 理事会・総会
- 24日(月) 全国建産連 総会
- 28日(金) ICTフェア(～29日)
- 7月24日(水) 社会貢献活動推進月間中央行事 (東京 経団連会館)
- 9月18日(水) 全建 協議員会 (東京 東京プリンスホテル)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

- 《行事予定》
- 4月 5日(金) テレビ講座
- 8日(月) 青年：技術防災セクション
まちなか協働パトロール出発式
- 10日(水) 土木：役員会
- 11日(木) 土木：視察研修
- 12日(金) テレビ講座
- 15日(月) 協会創立50周年記念に係る寄附の贈呈式
- 16日(火) 年度始め挨拶回り
- 17日(水) 協会創立50周年記念に係る測量機の贈呈式
- 18日(木) 常任理事会
理事会
- 22日(月) 記念事業推進検討部会
- 24日(水) 第1回技術社員研修会

(一社)加賀建設業協会

- 《行事予定》
- 4月17日(水) 役員会
- 24日(水) 土木委員会 総会
- 《お知らせ》
- 4月21日(日) 加賀温泉郷マラソン2019 開催
- 5月10日(金) 建築委員会 総会
- 15日(水) 協会・組合 定時総会
- 22日(水) 監理技術者講習 開催
- 29日(水) 献血奉仕活動 実施

(一社)小松能美建設業協会

- 《行事予定》
- 4月10日(水) 正・副会長会議
- 23日(火) 監査会
- 24日(水) 理事会

(一社)白山野々市建設業協会

- 《行事予定》
- 4月 9日(火) 監理技術者講習会
- 10日(水) 総務委員会
- 16日(火) 会計監査
- 19日(金) 理事会
- 《お知らせ》
- 5月15日(水) 定時総会

河北郡市土建協同組合

- 《行事予定》
- 4月 5日(金) 平成31年度第1回定例役員会
- 26日(金) 平成30年度事業会計監査

(一社)羽咋郡市建設業協会

- 《行事予定》
- 4月23日(火) 監事会
- 24日(水) 理事会
- 《お知らせ》
- 5月22日(水) 定時総会

(一社)七尾鹿島建設業協会

- 《行事予定》
- 4月 8日(月) 新年度挨拶回り
- 10日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

- 《行事予定》
- 4月10日(水) 監事会(会計監査)
- 22日(月) 正副会長会議、理事会
- 26日(金) 鳳輪協会「定時総会」

(一社)珠洲建設業協会

- 《行事予定》
- 4月 8日(月) 石川県立能登産業技術専門校 前期入校式
- 19日(金) 30年度会計監査
- 24日(水) 理事会
- 《お知らせ》
- 5月10日(金) 第51回定時総会